

今回は、慶應義塾大学卒業後の自分自身のグローバルヘルスにおけるキャリアの歩み、および、同時期に成立した学術分野としてのグローバルヘルスに関してお話しさせていただきました。

文献案内

1. リチャード・スコルニク「グローバルヘルス：世界の健康と対処戦略の最新動向」 2017: メディカル・サイエンス・インターナショナル.
2. リサ・バークマン, イチロー・カワチ, and マリア・グリモール「社会疫学(上/下)」 2017: 大修館書店.
3. マイケル・マーモット「健康格差：不平等な世界への挑戦」 2017: 日本評論社.
4. ジェフリー・サックス「貧困の終焉：2025年までに世界を変える」 2006: 早川書房.
5. ジェイムス・ライリー「健康転換と寿命延長の世界誌」 2008: 明和出版.
6. マッシモ・リヴィー・バッチ「人口の世界史」 2014: 東洋経済新報社.
7. 鬼頭宏「上智大学の学生たちの熱い関心を集めた 愛と希望の「人口学講義」」 2015: ウェッジ
8. アマルティア・セン「正義のアイデア」 2011: 明石書店
9. メツル／カークランド編「不健康は悪なのか—健康をモラル化する世界」 2015: みすず書房
10. ソニア・シャー著「人類五〇万年の闘い—マラリア全史」 2015: 太田出版